

令和元年度 国営事業評価技術検討会の答申

令和元年7月16日(火)に開催した令和元年度第2回国営事業評価技術検討会において、北海道開発局国営事業管理委員会が諮問した令和元年度国営土地改良事業等事業評価結果に対して、別紙のとおり令和元年7月18日付で国営事業評価技術検討会から答申がありましたので、お知らせします。

北海道開発局では、国営土地改良事業等の効率性及び透明性の向上を図るため、事業評価を実施しております。

なお、令和元年度第2回国営事業評価技術検討会の配布資料、議事概要については、北海道開発局ホームページに掲載しておりますので御覧ください。

【ホームページの掲載場所】

北海道開発局トップページ >> 農業・水産 >> 主な取組 >> 事業評価 >> 再評価・事後評価

URL : https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_seeki/splaat000001m1ta.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話(代表) 011-709-2311

事後評価 : 農業水産部 農業計画課 事業計画推進官 高久 俊宏 (内線 5513)

農業水産部 農業計画課 負担対策専門官 藤井 俊明 (内線 2068)

再評価 : 農業水産部 農業整備課 課長補佐 武下 和幸 (内線 5589)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



令和元年7月18日

北海道開発局農業水産部長 殿
(北海道開発局
国営事業管理委員会委員長)

国営事業評価技術検討会
委員長 長澤 徹 明

令和元年度国営土地改良事業等再評価結果について (答申)

令和元年7月16日付け北開局農整第42号により諮問のあった、令和元年度国営土地改良事業等再評価結果について、別紙のとおり国営事業評価技術検討会意見を答申します。

令和元年度再評価 国営事業評価技術検討会意見

地区名	技術検討会の意見
上士別	<p>本事業は、機械作業の効率化など生産コストの低減による農業経営の安定化を目的としたものであり、そのためには区画整理などによる生産性の高い基盤形成が必要不可欠であると認められる。</p> <p>整備済みの大区画ほ場では、効率的な営農がなされていることに鑑み、完了に向け事業の推進が望まれる。</p> <p>また、魚類等の生息環境保全への配慮に引き続き努められたい。</p>

令和元年7月18日

北海道開発局農業水産部長 殿
(北海道開発局
国営事業管理委員会委員長)

国営事業評価技術検討会
委員長 長澤 徹 明

令和元年度国営土地改良事業等事後評価結果について (答申)

令和元年7月16日付け北開局農計第35号により諮問のあった、令和元年度国営土地改良事業等事後評価結果について、別紙のとおり国営事業評価技術検討会意見を答申します。

令和元年度事後評価 国営事業評価技術検討会意見

地区名	技術検討会の意見
上音更	<p>本事業による排水路の整備は、湛水被害の解消に伴う作物生産量の増加、農作業の効率化に貢献している。加えて、輪作体系の確立や土壌分析を基にしたクリーン農業の推進、6次産業化の取り組みなどに寄与している。</p> <p>良好な農業生産基盤が形成されたことが、安定した農業経営を実現し、地区内の多くの農家の後継者確保につながっていると認められる。</p> <p>また、緩傾斜型落差工によって施工された排水路が、魚類の生息環境の改善や農村景観の保全に貢献していることも評価できる。</p>
雄武中央	<p>本事業及び関連事業の実施により、かんがい用水が確保され、家畜排せつ物の農地への適正な還元等が可能となった。このことで、作物生産量の増加、労働力の軽減のほか、肥料費等の節減が図られている。経営体の経営規模が拡大し、農業所得が向上するなど、重粘性土壌地帯での農業経営の安定に寄与しており、さらには、6次産業化の取り組みや後継者の確保につながっていることは評価できる。</p> <p>現在進められている関連事業は、引き続き計画的に推進していく必要がある。</p>
由仁	<p>本事業及び関連事業の実施により、区画整理による良好で均質なほ場の整備と農道及び用水路整備、換地に伴う農地集積が進められた。このため、農作業の効率化と用水の安定供給が図られ、作物の選択的拡大が可能となっている。加えて、経営の大規模化が進むとともに、麦、大豆、高収益作物の作付けが拡大している。さらに、水稻をはじめとするクリーン農業の展開や6次産業化等の推進にもつながり、地域の農業所得向上や後継者の確保に貢献している。</p> <p>また、本事業の実施の際に、地域住民も参加して地域振興について話し合いが行われたことが、女性農業者などの多様な主体による様々な地域活性化の取り組みに結びつき、農村の振興に寄与していることは特筆に値する。</p> <p>本事業の実施により、防風林を含む良好な農村景観が形成されたことも評価できる。</p>
富士見	<p>本事業の実施によりほ場条件が改善され、作物生産量の増加とともに農作業の効率化、肥料費等の節減が図られている。また、大型機械の導入が進み、コントラクター事業の活用が増え、経営規模の拡大による農業経営の安定に寄与している。</p> <p>良好な農業生産基盤の整備を契機として、地元関係機関が連携し、地域の基幹産業である酪農の将来目指すべき方向が検討された。そのことにより、担い手の育成、後継者の確保等に資する営農支援施設の整備が行われるなど、地域農業の持続的な発展の取り組みにつながっていることは、本事業の効果としておおいに評価できる。</p> <p>また、本事業の実施により魚類の生息環境の改善に貢献していることも評価できる。</p>